

平成 29 年度 事務事業評価(議会)
(平成 28 年度決算)

分科会評価結果

分科会名	文教分科会				整理番号	文教-2		
事務事業名	武漢市学校交流事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	1	拡充	2	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、本市と中国武漢市との友好交流の諸事業の一つとして、本市中学校と武漢外国語学校の生徒同士の体験入学等を実施し、相互の理解と友情の促進を図るとともに、国際社会に貢献できる人材の育成を図ることを目的としている。

これまでの成果として、平成 24 年度からの 5 年間で、両市合わせて計 36 名の生徒が体験入学やホームステイを通して、異なる生活習慣や文化に触れ、知識や見聞を広めている。

数値的に事業の効果を測ることは難しい部分があるが、その後もメール等で交流が続いている事例があるなど相互理解と友情が促進されていると考えられ、今後も双方において交流や学習の機会を提供することを求め、継続とした。